

新たな果樹産地の育成と販路の確保

甲賀農業普及指導センター

【普及活動のねらい・対象】

平成 28 年度から、当普及指導センターと関係機関がブドウとナシの栽培者を募り、新たな産地づくりを進めています。今年度は、ブドウでは、量販店での販売を視野に入れた規格に合わせた房づくりについて、ナシでは樹冠拡大と側枝更新のための肥培管理について技術指導を行いました。また、新規栽培者の確保と量販店での販売に向けて話し合いの支援を行いました。

【普及活動の内容】

(1) 規格に合わせた房づくりのための技術習得(ブドウ)

規格に合わせた房づくりのために、栽培管理が始まる 4 月当初に品種ごとに目標とする房重と着粒数の基準を研修会で統一しました。栽培開始後は、房づくり時期に集合研修を行うとともに個別巡回で技術習熟のための指導を行いました。

(2) 樹冠拡大と側枝更新のための肥培管理指導(ナシ)

更新用の側枝養成のために、予備枝や主枝に付いた花芽を開花前にすべて取り除く指導を春先に行いました。生育期間中は、不必要な芽を取り除くことや花芽着生を促す誘引などの指導を、12 月のせん定講習会では側枝更新と予備枝を残す指導を行いました。

(3) 量販店での販売に向けた話し合いの支援

農協直売所への過剰出荷を懸念する声が生産者の共通する声として出ていました。そのため、本年度の販売状況と次年度以降の販売意向の聞き取り結果をもとに、直売所への出荷の在り方や量販店での販売を行うための話し合いを支援しました。

(4) 新規栽培者確保研修会の実施と栽培開始指導

関係機関が協力して新規栽培者を募る研修会の開催が定着しました。今年度は 35 名の参加者があり、栽培希望農家に個別指導を行いました。また、当普及指導センター広報誌と SNS でも収穫と販売の様子を広報し、栽培開始の気運を醸成しました。



写真1 現地での意見交換の様子

【普及活動の成果】

生産量は、ブドウは目標 6.65t に対して 6.27t、ナシは目標 4.02t に対して 4.09t と目標通りの生産量が得られ、農協直売所や庭先販売で販売できました。栽培開始農家の累計は、ブドウは 18 戸(10,844 ㎡)、ナシは 11 戸(4,794 ㎡)となりました。また、次年度以降の量販店での販売に向けて、世話役農家も選出されました。今後も、栽培の拡大を行うとともに、量販店での販売開始に向けて支援を行います。

◎対象者の意見

本年度の販売結果には満足しているが、次年度以降は生産量が確実に増えるので、量販店での販売について関係機関の協力をお願いしたい。(生産者)